

江戸時代のお金

江戸時代は金貨、銀貨、銭貨(銅銭)の三つの貨へいがありました。

ここに展示されている「天保小判」「天保一分金」は金貨です。

「天保一分銀」「安政丁銀(重さ約170g)」、
「安政両面大黒板銀(重さ約10g)」は銀貨
で、「寛永通宝(一緡||百枚||百文)」は銭貨
と呼ばれています。銀貨は重さをはかって
使うお金でした。

金貨は主に江戸で、銀は主に大坂で使
れました。

【貨幣の単位】

ぎんか
銀貨

※重さをはかって使う



ぎんか
金貨

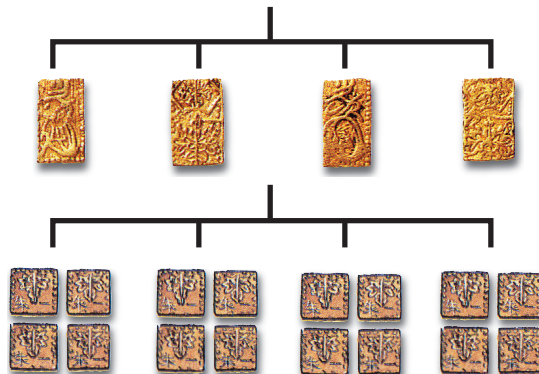
1両



こばん
小判1枚

=

=



せんか
銭貨(銅銭)



もんせん
一文銭 4000枚(4貫文)

ぶ
一分金 4枚

しゅ
一朱金 16枚